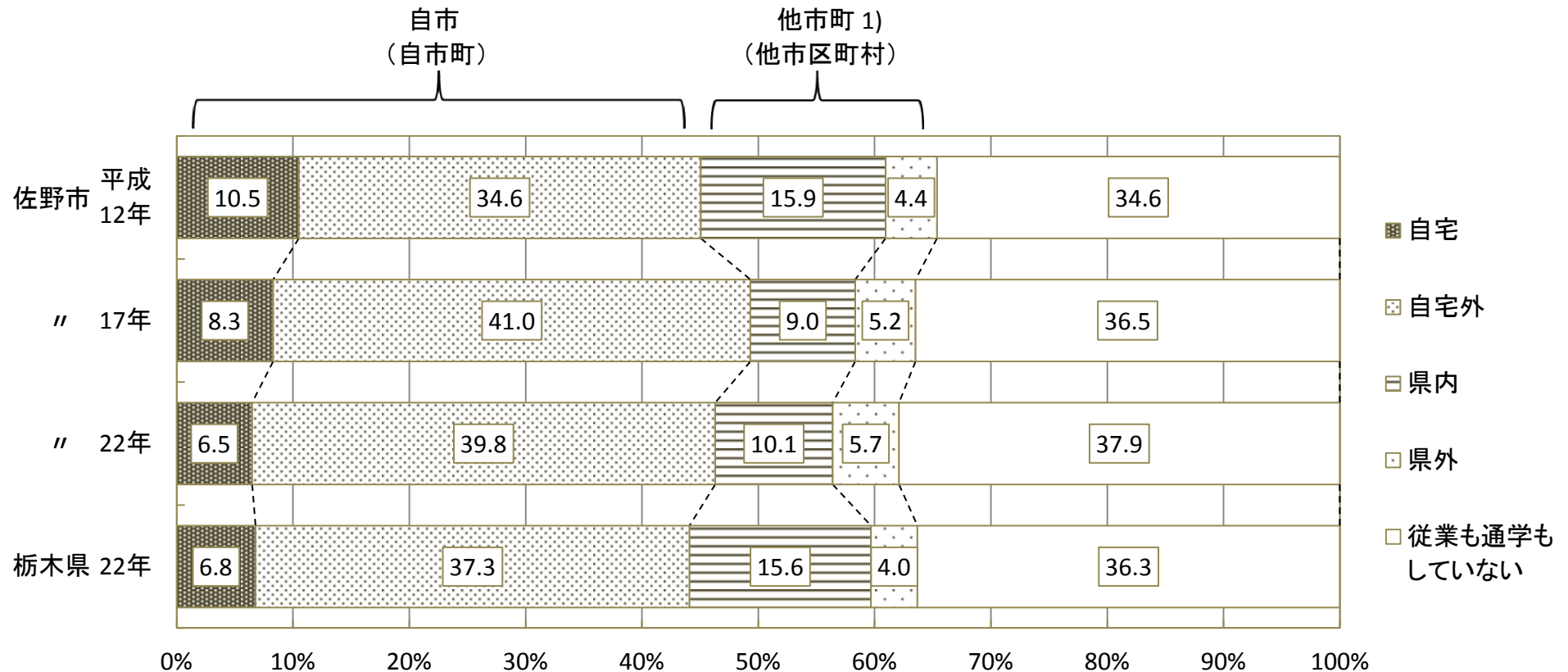


# 1. 従業地・通学地別人口

佐野市の人口12万1249人に占める従業地・通学地別の割合をみると、「自市」が46.3%（5万4223人）、「他市町」が15.8%（1万8525人）、「従業も通学もしていない」が37.9%（4万4325人）となっている。平成17年と比べると、「自市」が3.0ポイントの低下となっている。一方、「他市町」が1.6ポイント、「従業も通学もしていない」が1.4ポイントの上昇となっている。

栃木県と比較してみると佐野市は、「自市(町)」の割合が2.2ポイント、「従業も通学もしていない」の割合が1.6ポイント高くなっている。一方、「他市区町村」の割合が、3.8ポイント低くなっている。



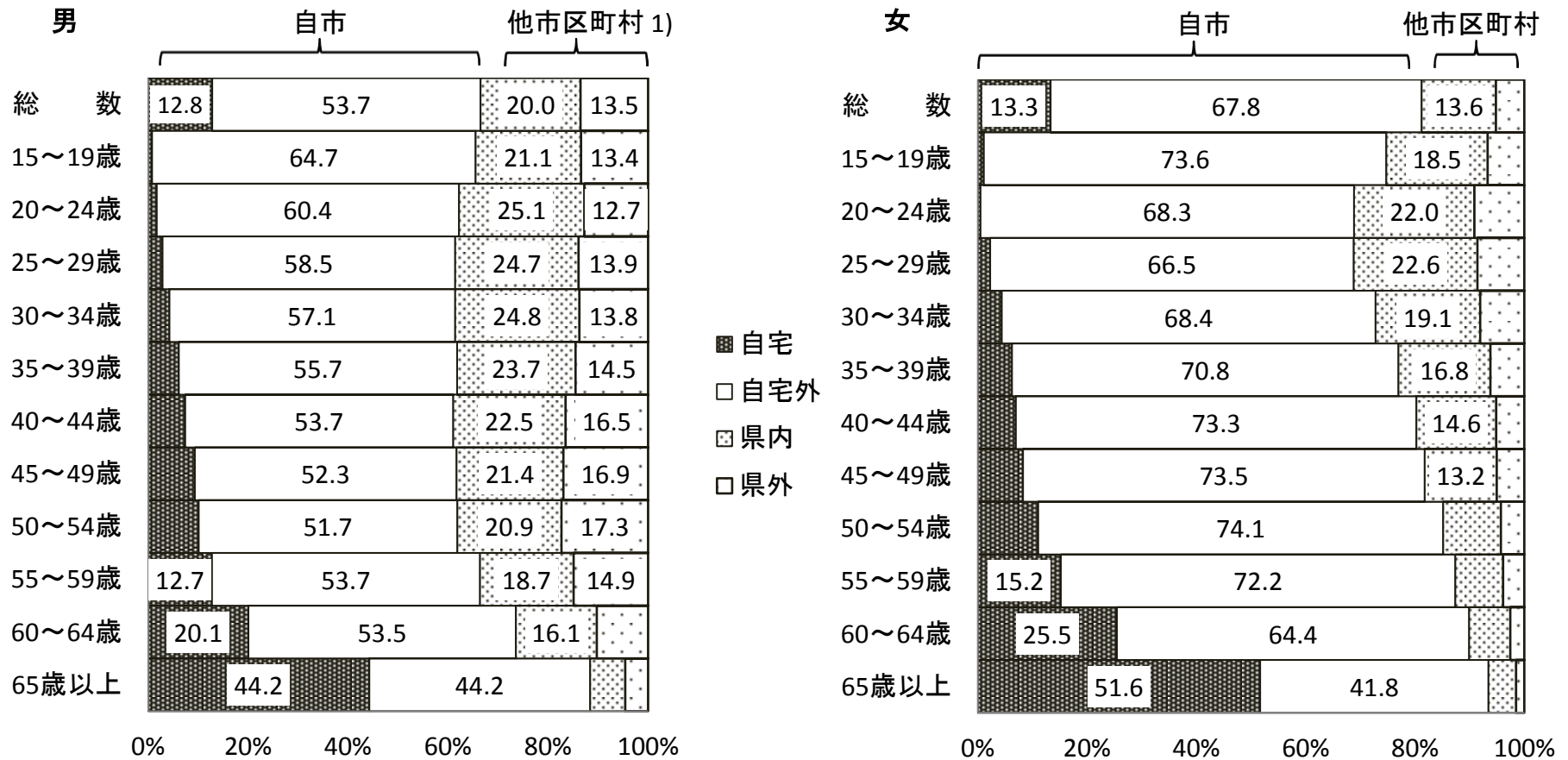
1) 平成22年国勢調査については、従業・通学先「不詳」のうち、「県内・県外の別不詳」分は、「県内」・「県外」にそれぞれ按分して算出している。

2) 「年齢」・「労働力状態」及び「従業地・通学地」の不詳を除いて算出している。

## 2. 男女別従業地別就業者

男女別、年齢5歳階級別15歳以上就業者に占める就業地別の割合を見ると、「自市」が、男性では65歳以上が88.4% (3,774人)と最も高く、次いで、60～64歳が73.6% (3,741人)、55～59歳が66.4% (4,080人)などとなっている。女性では、65歳以上が93.4% (2,192人)と最も高く、次いで、60～64歳が89.9% (2,112人)、55～59歳が87.4% (2,498人)などとなっている。

「他市区町村」についてみると、男性では40～44歳が39.0% (1,354人)と最も高く、次いで、25～29歳及び30～34歳が38.6% (1,601人)及び1,842人)などとなっている。女性では、25～29歳が31.2% (624人)と最も高く、次いで、20～24歳が31.1% (532人)、30～34歳が27.2% (612人)などとなっている。

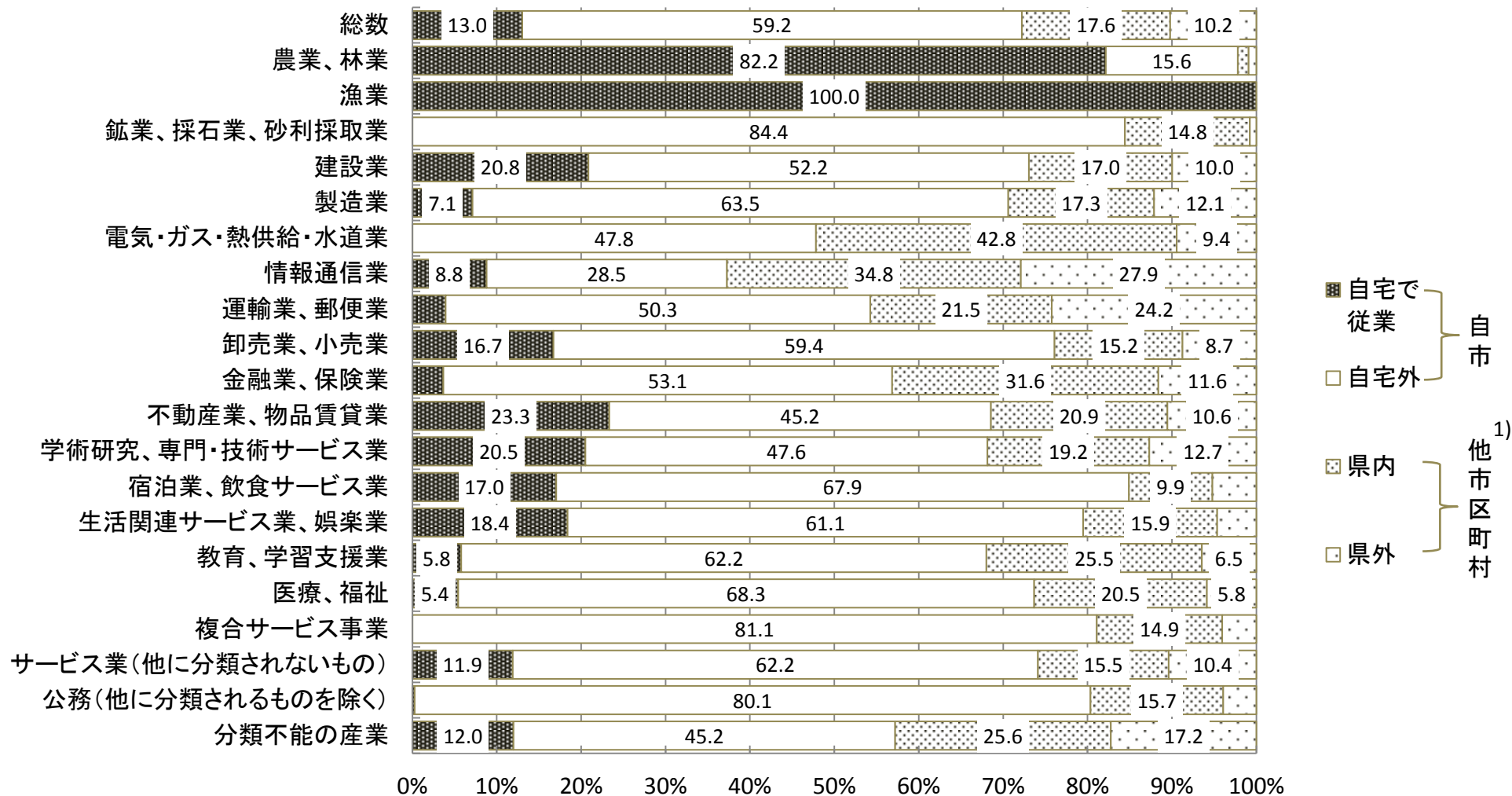


1) 従業・通学先「不詳」のうち、「県内・県外の別不詳」分は、「県内」・「県外」にそれぞれ按分して算出している。

2) 「年齢」・「労働力状態」及び「従業地・通学地」の不詳を除いて算出している。

### 3. 産業別就業者

産業大分類別15歳以上就業者に占める従業地別の割合をみると、「自市」は「漁業」が100.0% (1人)と最も高く、次いで、「農業、林業」が97.8% (1,644人)、「宿泊業、飲食サービス業」が84.9% (2,785人)などとなっている。次に、「他市区町村」についてみると、「情報通信業」が62.7% (207人)と最も高く、次いで、「電気・ガス・熱供給・水道業」が52.2% (84人)、「運輸業、郵便業」が41.9% (1,763人)などとなっている。



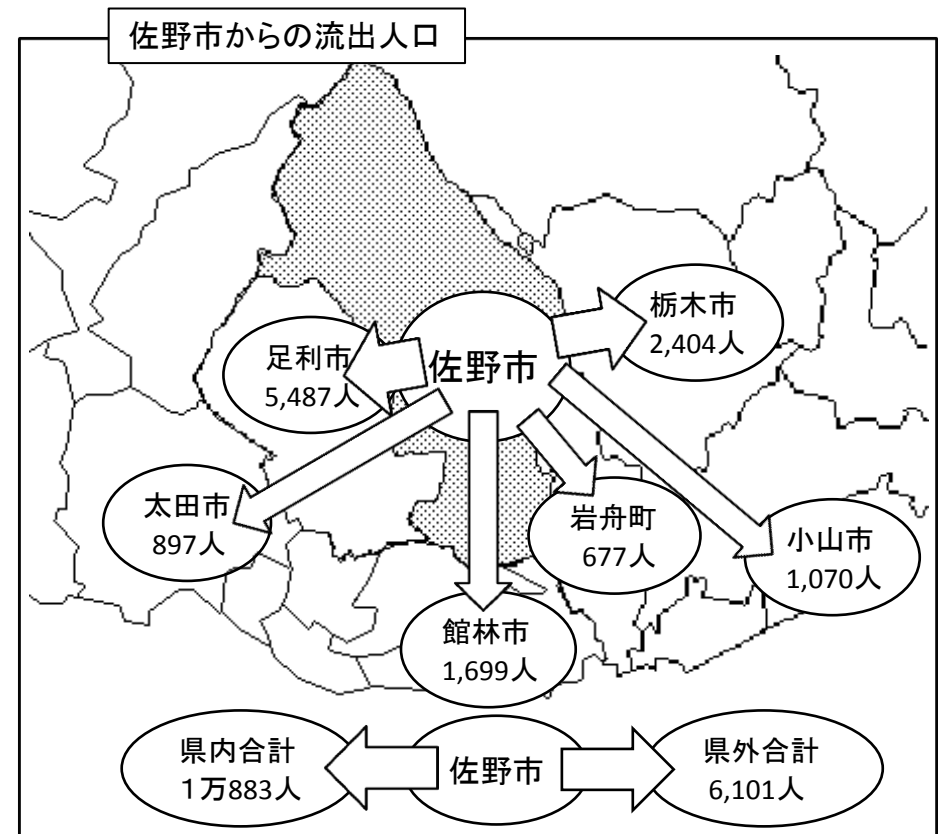
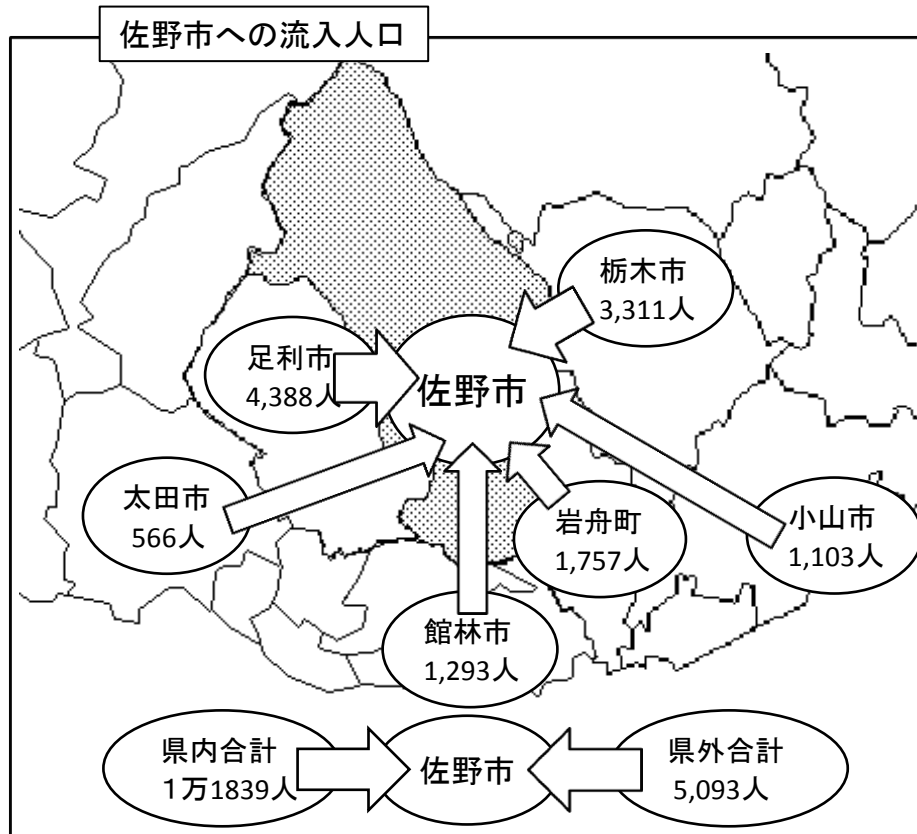
1) 従業・通学先「不詳」のうち、県内・県外の別不詳分は、「県内」・「県外」にそれぞれ按分して算出している。

2) 「年齢」・「労働力状態」及び「従業地・通学地」の不詳を除いて算出している。

## 4. 流入・流出口口

通勤・通学のため、他市区町村から佐野市に流入している人口（流入人口）は、1万6932人で、平成17年より475人（2.7%）減少している。流入人口を市区町村別にみると、足利市からの流入人口が4,388人（流入人口のうち25.9%）と最も多く、次いで、栃木市が3,311人（同19.5%）、岩舟町が1,757人（同10.4%）などとなっている。この3市で流入人口全体の半分以上を占めている。平成17年と比べると、足利市からの流入が2.8%（118人）増加、栃木市からの流入が1.9%（63人）減少、岩舟町からの流入が6.4%（121人）減少となっている。

通勤・通学のため、佐野市から他市区町村へ流出している人口（流出人口）は1万6984人で、平成17年より479人（2.7%）減少している。流出人口を市区町村別にみると、足利市への流出人口が5,487人（流出人口のうち32.3%）と最も多く、次いで、栃木市が2,404人（同14.2%）、館林市が1,699人（同10.0%）などとなっている。この3市で流出人口全体の半分以上を占めている。平成17年と比べると、足利市への流出が5.4%（311人）減少、栃木市への流出が6.1%（139人）増加、館林市への流出が5.2%（84人）増加となっている。



## 5. 昼夜間人口

県内14市部の昼夜間人口比率について比較してみると、大田原市が105.5と最も高く、次いで、宇都宮市が104.6、小山市が101.1などとなっている。佐野市の昼夜間人口比率は100.0であり、県内14市部中、第5位となっている。

